

# GS新アシバツナギS引張試験成績書

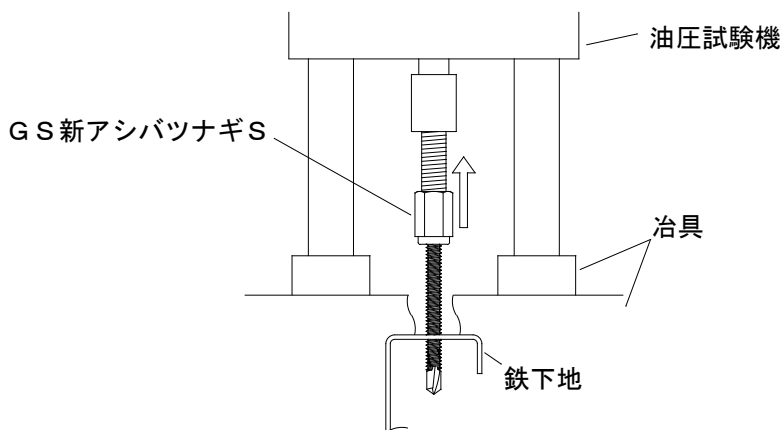
S Fタイプナット固定式

品番	下地厚(mm)	試験材	最大引張強度	状態
New S F 8×53	1.6～3.2	一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 75×45×15 1.6t	5,000N(510kgf)	抜け
New S F 8×63		一般構造用角形鋼管 100×100 2.3t	8,300N(846kgf)	抜け
New S F 8×78		一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 100×50×20 3.2t	13,200N(1,346kgf)	抜け
New S F 8×103		一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 60×30×10 2.3t	5,864N(598kgf)	抜け
S F 8×78	2.3～4.5	一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 100×50×20 3.2t	8,414N(858kgf)	抜け
		熱間圧延形鋼等辺山形鋼 40×40 4.5t	14,386N(1,467kgf)	抜け
		一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 60×30×10 2.3t	5,864N(598kgf)	抜け
S F 8×128	2.3～6.5	一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 100×50×20 3.2t	8,414N(858kgf)	抜け
S F 8×158		熱間圧延形鋼等辺山形鋼 40×40 4.5t	14,386N(1,467kgf)	抜け
S F 8×178		熱間圧延形鋼等辺山形鋼 50×50 6.0t	19,613N(2,000kgf)	ナット破損
S F 8×198		熱間圧延形鋼等辺山形鋼 50×50 6.0t	19,613N(2,000kgf)	ナット破損

高ナットカーリングカシメ部最大引張強度 19,613N (2,000kgf)

## ■試験状態

試験材にGS新アシバツナギSをねじ込み、油圧試験機で引張試験をし最大平均値を計測。



- \* (社)仮設工業会編の足場工事マニュアルに準じて、十分な安全率を考慮して下さい。
- \* 引張強度≒圧縮強度ですが、極力曲げ方向の荷重負担のない状態で壁つなぎの接続をして下さい。
- \* GS新アシバツナギSの締結は、下地に対し直角に施工して下さい。
- \* 推奨工具を使用せず下穴を別工具で穴あけ加工しての締結では、記載の最大引張強度は得られません。

令和3年4月12日

イイファス株式会社 / (株)シグテックファスナー

詳しい情報は こちらから <http://www.iifas.jp> Email: sales@iifas.jp

